

## えひめの歴史文化モノ語り

県歴博収蔵資料から ⑫

まもなく終戦から77年。

今年も日本人が忘れてはな

らない暑い8月が来た。

（平成20）年の特別展「愛媛と戦争」にあわせて、四国中央市紙のまち資料館の模型を参考に約11分の1スケールで製作した。

（流）に乗せて、米国本土を攻撃しようとした秘密兵器である。本資料は2008

（平成20）年の特別展「愛媛と戦争」にあわせて、四国中央市紙のまち資料館の模型を参考に約11分の1スケールで製作した。

千葉県一宮町、茨城県大津町（現北茨城市）、福島県勿来町（現いわき市）から、約9300個が放たれた。その内361個が米国で自爆

が亡くなっている。

風船爆弾を製作していたのは女性たちである。愛媛県立川之江高等女学校33回生の会による「風船爆弾

## 風船爆弾

### 兵器製作に女学生動員

4（近・現代）で模型展示している「風船爆弾」について紹介する。風船爆弾とは、直径10㌢の気球に爆弾をつるし、偏西風（ジェット気

風船爆弾は、1944（昭和19）年から翌年にかけて、和風の氣球に爆弾をつるし、偏西風（ジェット気

され、山火事や死者を出して

いる。送電線を故障させ原子

を作った日々」（鳥影社、

2007年）を読み返しな

がら、当時の聞き取り調査

を思い出してみる。

1941（昭和16）年4

月に入学した33回生は、44

年6月末から9月初めにか

けてコウゾの皮はぎに従事

した。8月23日、学徒勤労

令施行規則が公布される

と、33回生のうち約100

人は五つの製紙工場へ動員

されて原紙作り、残りの約

50人は国産科学工業株式会

社愛媛工場（学校工場）で

やくのりで1球になるよう

に貼り合わせる気球貼り

は、終日指で和紙をこする

ため血がにじみ痛みに耐え

ながらの作業だった。45（昭

和20）年3月、風船爆弾作

りは終了したが、33回生は

専攻科に進み、終戦まで動

員先を転々とした。

風船爆弾は、当時の女学

生が兵器の製作に従事して

いたことの一例である。風

船爆弾を「ご覧いただき戦争

の悲惨さと平和の大切さを

考える機会となれば幸いで

ある。

（専門学芸員・平井誠）

△随时掲載します△



風船爆弾